

- 問1 ある地方の町における年齢別の人口構成を調査したところ、15歳から64歳の人口の割合が51.8%であり、全国平均の65.9%や東京都の70.0%を大きく下回っていました。この統計から読み取れる、この町の人口構成に関する課題として正しいものはどれですか。 (2023年 福岡県公立入試 類似)
1. 全国平均に比べて働く世代が多く、地域の税収が安定している。
 2. 労働力の中心となる世代が少なく、高齢化が進んでいる。
 3. 乳幼児の割合が非常に高く、保育所の増設が求められている。
 4. 若年層の流入が激しく、学校の教室不足が深刻化している。
- 問2 日本の農業産出額の内訳に関する2022年の統計資料において、以下の3つの地域の特徴が見られます。一つ目は、総額が5114億円に達し、その約68%を「畜産」が占める地域。二つ目は、総額が2708億円で「果実」と「野菜」がそれぞれ約33%ずつを占める地域。三つ目は、総額は484億円と比較的規模は小さいものの「米」が約49%と約半分を占める地域です。これら三つの地域に該当する都道府県の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 茨城県公立入試 類似)
1. 一つ目が茨城県、二つ目が長野県、三つ目が石川県
 2. 一つ目が茨城県、二つ目が石川県、三つ目が長野県
 3. 一つ目が鹿児島県、二つ目が長野県、三つ目が石川県
 4. 一つ目が鹿児島県、二つ目が石川県、三つ目が長野県
- 問3 2020年の農業産出額の統計において、畜産が全体の約7割を占めている県があります。この県において畜産業が発達した土地の条件として、適切な説明を選びなさい。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
1. 冬の積雪が非常に多く、1年の半分は畑での作物の栽培が困難であるため。
 2. 火山灰が堆積したシラス台地が広がり、水はけが良すぎて水田稲作に適さなかったため。
 3. 干拓によって広大な土地が確保されたが、塩分が含まれているため家畜の飼料作りが優先されたため。
 4. 山地が険しく耕作地が少ないため、傾斜地を利用した放牧が行われてきたため。
- 問4 1970年代から現代にかけての日本とタイの輸出入品目の変化を見ると、原材料中心から工業製品中心へと大きく入れ替わっています。このように、国同士で取引される品目の組み合わせや構成のことを何といいますか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 貿易構造
 2. 垂直分業
 3. 加工貿易
 4. 関税障壁
- 問5 日本の諸地域の産業を比較した際、米や果実などの農業産出額に対して、製造品出荷額が1兆円を超えるほど非常に高い数値を示し、工業が県の産業において大きな割合を占めている県はどこですか。 (2026年 新潟県公立入試 類似)
1. 静岡県
 2. 茨城県
 3. 和歌山県
 4. 山形県
- 問6 日本の畜産業において、乳牛の飼育頭数が全国の約6割を占めており、広大な土地と冷涼な気候を活かした酪農が盛んな地域として最も適切なものはどれですか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
1. 千葉県を中心とした房総半島地域
 2. 北海道
 3. 鹿児島県と宮崎県を中心とした九州地方
 4. 栃木県や群馬県などの北関東地域
- 問7 野菜の国内消費量と国内生産量の推移を比較すると、両者の差が小さく、食料自給率は比較的高い水準で推移しています。このように野菜の国内生産量が消費量の大部分を占め、自給率が高く保たれている理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2024年 三重県公立入試 類似)
1. 鮮度が求められる品目であり、消費地に近い国内での生産が有利だから
 2. 食生活の変化によって国内での消費量が急激に減少したから
 3. 乾燥に強く長期保存が容易なため、国内に備蓄しやすいから
 4. 大規模な農地での機械化が最も進んでおり、輸入農産物より安価だから
- 問8 世界の食料需給に関連して、「仮想水（バーチャルウォーター）」という考え方が注目されています。農畜産物の生産に必要なとされる仮想水について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛知県公立入試 類似)
1. 乾燥帯の国々において、農作物を栽培するために地下からくみ上げられた化石水が、蒸発して失われる量を推計したものである。
 2. 農作物を輸出する際、その農作物の組織内に含まれている水分量を計算し、輸出先の国へ移動した水として定義する数値のことである。
 3. 家畜を育てるための直接的な飲み水だけでなく、その餌となる飼料作物を栽培するために大量に消費された水を含めて考える概念である。
 4. 農畜産物を加工して製品にする段階で、工場の機械を冷却したり洗浄したりするために使用される水の総量を指す概念である。
- 問9 日本の水産業で行われている「育てる漁業」のうち、卵からふ化させた稚魚を一定の大きさまで人工的に育てた後、自然の海や川へ放流し、成長してから漁獲する仕組みを何といいますか。 (2021年 宮城県公立入試 類似)
1. 栽培漁業
 2. 沖合漁業
 3. 養殖業
 4. 遠洋漁業
- 問10 1960年時点では第一次産業の就業者割合が非常に高く、工業生産額も少なかった地域において、2010年には第三次産業が産業の大部分を占め、工業生産額も飛躍的に増大している統計データがあります。このような、交通網の整備などを背景に産業の中心が移行する現象を何と呼びますか。 (2016年 静岡県公立入試 類似)
1. 産業構造の高度化
 2. 第一次産業への回帰
 3. 食料自給率の向上
 4. 地産地消の推進
- 問11 ある統計資料において、東京都の年間の出生数は約11万人、死亡数は約11万2千人となっており、死亡数が出生数をわずかに上回っています。しかし、東京都全体の人口は年間で約7万人も増加しています。この人口増加の要因として最も適切な説明を選びなさい。 (2016年 岩手県公立入試 類似)
1. 行政サービスが向上したことで、周辺の県から家族単位での転入が急増し、出生数そのものを押し上げる「社会増加」が起きたため。
 2. 医療体制が充実していることで高齢者の死亡数が抑制され、出生数との差である「自然増加」が拡大しているため。
 3. 若年層の人口割合が他県に比べて極めて高く、出生数が死亡数を大幅に上回る「自然増加」が起きているため。
 4. 大学や企業の集中により、他地域から東京都へ転入する人数が、東京都から転出する人数を大きく上回る「社会増加」が起きているため。
- 問12 現代日本の産業と社会課題に関連して、日本の製造業が「海外生産台数」を増やしている主な背景と、国内の人口動態の説明として適切な組み合わせはどれですか。 (2024年 長崎県公立入試 類似)
1. 背景：海外からの労働力流入による国内コスト低下 / 人口動態：すべての世代における均等な人口配分
 2. 背景：現地の需要に応える現地生産の拡大 / 人口動態：少子高齢化による生産年齢人口の減少
 3. 背景：国内市場の爆発的な拡大 / 人口動態：出生率の上昇による総人口の急増
 4. 背景：円高による輸出利益の増大 / 人口動態：高齢者人口の減少と年少人口の増加
- 問13 日本の主要な発電所の立地場所を分析した記述として、水力発電の立地特性を正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 火山の近くなど、地下の地熱エネルギーを取り出しやすい場所に立地する
 2. 冷却水を大量に使用するため、都市から離れた広大な海岸部に立地する
 3. 燃料の輸入に便利な、消費地に近い大規模な港湾部に立地する
 4. 地形が険しく、雨量が多い河川の上流部や山間部に立地する